

国を動かす! 宮崎のために。

新型コロナの対応で迷走する政府・与党。 一方で野党第一党は「なんでも反対」路線。 このような国難の時代だからこそ「新しい政治をつくらなければなりません。 外山イツキは、日本、そして宮崎のために、政策提案をし、スピーディーに動きます。

- 1 徹底した新型コロナ対策を実行し、国民の生命と財産を守る。
2 大型減税と規制改革、日本をダイナミックに飛躍させる成長戦略を実行。
3 全国民に現金を一律給付するベーシックインカム(最低限所得保障制度)の実現。
4 誰もが安心して受けれる医療・福祉制度の拡充。
5 憲法改正に正面から挑み、時代に適した「今の憲法」へ。
6 政治不信を解消し、政治家が責任を取る「良識ある政治」へ。
7 議員定数・議員報酬を見直し、「身を切る改革」を実行。

責任ある政治を取り戻す!

私に決意
ぶれずに、信念をもって決断いたしました。
政治家は自分の信念がなければ
皆さんを説得することはできません。
私利私欲を捨て、県民のために動く。
その一点です。
自民党女性局長を約六年務め、
県内の女性と一緒に、児童虐待防止キャンペーン、
災害支援活動などを続けてきました。
政権与党である自民党に誇りを持ち、
市議・県議あわせて約十年、頑張ってきました。
そんな私がなぜ自民党という兜を脱いで、
女性局長という肩書を捨てて
出馬しようとするのか...
それは、大義があるからです。
自民党県連が、誰も推薦しない中、
誰かが立たなければ...という強い思いからです。
そして、自分が逃げたはいいけないと思っからです。
苦しくて、無謀だと言われても、
大義と信念があれば、パワーが生まれ、前に進める。
そして多くの反響が、私を突き動かしています。
宮崎のために、いま行動します!

真っすぐな行動力! 今、女性の風が吹く!!

【政治家としてのスタンス】
1人ひとりの声に真剣に耳を傾け、気持ちを共有し、
解決に向けて動く、そしてしっかりと説明
すべての根本である「教育」
未来を担う子どもたちへ支援
多様化社会における女性の生き方支援
医療・介護分野における専門職への支援
地方の発展なくして日本の未来なし、
農業を守らずして日本の食はなし
ポストコロナを見据えた活力ある地域経済の再生
命を守る国土強靱化とインフラ整備



外山イツキ

日本維新の会

小松台在住 赤江育ち

外山イツキ プロフィール
前参議院議員。
1976年4月生まれ。宮崎県日南市出身。幼少時は宮崎市赤江で育つ。
英国立工セックス大学社会学部社会学科中退。
参議院議員秘書を経て、2007年に参議院宮崎選挙区で全国最年少当選。
参院予算委員会委員、沖縄・北方特別委員会理事、参院国対副委員長などを歴任。
与党時代は、陳情要請対応本部の副本部長を務め宮崎をはじめ九州各県の予算獲得に尽力。
家族構成
妻、中学生の長男、小学生の長女の四大家族。

「納得」を築く!

選挙は、国民の意思を問う重要な機会。
ぜひゆっくり振り返ってほしい。
この10年近く蔑ろにされてきたものは何か。
国政のかじ取りは難しい。
容易に解決できない難課題もあれば、意見の分かれるテーマもある。
みんなの未来を考えて、そこから逃げられないから、政治は時に厳しい判断をせざるを得ないことがある。

じゃあ、岐路に立った為政者に必要な姿勢とは何だろうか?
それはきっと国民に対して偽りのない誠意を持つこと。
丁寧に説明し、一所懸命に説得すること。
異論があれば「これでもか、これでもか」と額に汗して、言葉を紡ぎ続けること。
そうすることで、国民の「納得」は築かれていく。

少なくとも
国民の代表者が集って議論する国会で、嘲笑したり、はぐらかしたり、嘘の答弁を繰り返すことではない。
ましてや記者会見で質問を遮ることもない。

意見が違うのも、立場が違うのも当然。
それでも議論を尽くし、最大限の納得を得ようと懸命に努力するのが「民主主義」。

さあ、この国に取り戻そう。
当たり前の「納得」を。
そして、あなたが願くことのできる政治を。

渡辺創が取り組む、この国の「次の一歩」!

新型コロナ対策の徹底と 傷んだ国民生活の再建

水際防疫の徹底、検査強化、医療態勢の担保、治療法の確立等で安心を確保。30兆円規模の補正予算で「国民生活」と「生業」を再建します。

分配なくして成長なし! みんなを幸せにする 経済政策

格差は正が急務です。コロナ禍を踏まえ、時限的な5%の消費税減税、年収1000万円程度以下の所得税実質免除、低所得者層への給付金支給を実現。富裕層、超大企業への優遇税制は正財源をねん出します。同一価値労働同一賃金の法制化や最低賃金の引き上げに取り組みます。

地域を守り、活かす。 地域実態に合わせた 産業支援

規制緩和と競争力強化偏重の農政から脱却し、多様な農業者が共生できる環境を支援。農業者戸別所得補償制度の復活を目指します。介護や医療、教育などベーシックサービスの充実で雇用を促進し、地域循環を意識した経済を。

平和を守るための 現実的外交

健全な日米同盟を基軸にした現実的な外交・安全保障政策を進めながら、アジアの中の日本という立場を明確にします。対等な建設的な関係を築くため米軍基地の負担軽減、日米地位協定の見直しに取り組み、辺野古新基地建設を中止し、米国との再交渉を。この国の礎である憲法の平和主義を堅持します。

みんなにチャンスがある、 若者の未来を創る

国公立大の授業料を半額へ。私大生、専門学校生の給付型奨学金を大幅拡充するとともに、ひとり暮らしの学生への家賃補助を創設します。義務教育段階、高校教育を含めた多様な学び方を充実させ、子どもたちを取り巻くあらゆる課題に丁寧に向き合う社会を実現します。

民主主義と 立憲主義を守り抜く

当たり前のルールを守り、国民の納得を築き、合意を形成するプロセスを大切にします。国民が「この国は公平で公正だ」と実感できる社会を取り戻します。

多様性を認め合い、 差別のない社会を

あらゆる差別の解消を目指し、国内人権機関を設置します。選択的夫婦別姓制度の早期実現、LGBT平等法の制定、ジェンダー平等の実現に向けた女性政策などを充実させます。自民党政権では実現しなかった具体的な一歩を踏み出します。

自然エネルギー 立国の実現

原発に依存しないカーボンニュートラルを目指します。省エネ機器普及、住宅の断熱化推進に加え、電気自動車、ハイブリッド車の普及促進で脱炭素化の基盤を強化します。

ホームページ QRコード
渡辺創の総合プラットフォームはこちら。各SNSへの入り口にも
https://watasou.org/
これまでの歩みを記した「渡辺創の物語」をHPでお読みいただけます。



立憲民主党公認 渡辺創

元新聞記者 県議3期

【プロフィール】1977(昭和52)年生の44歳。宮崎市東大宮出身・在住で国富と田野にもルーツがあります。宮崎北高校に在学中に腰の手術・入院を繰り返し中退。定時制の宮崎東高校屋敷部で学び直しました。多様な生き方を尊重する大切さを学んだ思春期でした。
新潟大学法学部を卒業し、毎日新聞社入社。横浜支局を経て東京本社政治部へ。首相官邸や自民党、民主党などを担当し激動の永田町取材。
2010年に帰郷し参院選に挑戦するも次点。翌年から宮崎県議3期10年。ライフワークの教育施策をはじめ県政課題と全力で向き合う日々。地域の一人として消防団や交通安全活動にも全力投球。立憲民主党全国自治体議員団幹事長をはじめ県境を越えた活動にも励み、現在同党宮崎県連代表です。家族は妻、高1長女、中1長男。

宮崎の想いを心に、前へ。

新型コロナウイルスから命と健康、暮らしと雇用を守る
感染拡大の「第6波」は「必ず到来する」という前提で、医療難民ゼロを目指し、国・自治体に与えられた権限をフル活用、病床・医療人材の確保を徹底します。

地方(宮崎)があって、都市(東京)がある。 地方創生のさらなる充実強化
地域経済と生活の再建、交流人口・関係人口の更なる拡大、5Gの早期展開など、地方におけるデジタル・インフラの整備を推進します。

大規模自然災害への取り組みの強化と インフラ整備の推進
予測される南海トラフ地震に対する備えや、気候変動の影響により頻発化・激甚化する異次元の自然災害から、皆様の生命・財産を守ります。

地方経済の活性化
中小企業・小規模事業者を支援し、特にコロナ禍でダメージを受けた皆様を全力でバックアップし、来春春までを見通せる、家賃支援給付金・持続化給付金の再支給などの地域・業種を限定しない事業継続支援を事業規模に応じて実施します。

農 林水産業の成長産業化と生産性向上政策を
食料安全保障の確立に向け、生産基盤強化に全力を挙げスマート農業の社会実装や土地改良を推進し、農林水産業の成長産業化と美しく活力のある農山漁村の実現に全力で取り組みます。

すべての世代が安心できる 全世代型社会保障制度の構築
全世代型社会保障制度の更なる充実に取り組みます。子どもたちが夢や希望をもって成長できるよう支援し、早急に不妊治療の保険適用の実現、児童虐待防止対策・子供の貧困対策に引き続き取り組みます。

格差のない教育環境の整備と教育再生・子育て支援
我が国の長い伝統と文化を尊重し、Society5.0時代にふさわしい「令和型教育」を実現してまいります。35人学級、ICTを活用した教育実践・教育過程全体を通して自ら未来を切り拓く「生きる力」を育むための教育再生を進めます。

観光は日本の基幹産業
コロナ禍で疲弊している観光産業の復活のため需要喚起策を打ち出し、旅館業法改正などに取り組みます。特にワーケーション等新たな仕組みを積極的に宮崎に取り入れてまいります。



わきたこ

プロフィール

- ◆佐土原町生まれ、新富町立富田小・中学校卒
◆高鍋高等学校卒業(新体操でインターハイ出場)
◆武蔵野大学 通信教育部人間関係学部卒業
◆フリーアナウンサー歴 約30年
◆宮崎市議会議員2期
◆2019年4月 宮崎県議会議員1期目
◆2021年9月 第49回衆議院議員選挙出馬を決め、宮崎県議会議員辞職



無所属



たけい 俊輔

自民党 公認 46才

- 1975 宮崎県宮崎市生まれ
1990 宮崎市立大塚中学校卒
1993 宮崎県立宮崎西高校卒
1997 中央大学文学部史学科卒
宮崎交通株式会社 入社
2005 早稲田大学大学院修了
2007 宮崎県議会議員当選
2011 自由民主党宮崎県第一選挙区支部長就任
2012 衆議院議員総選挙当選
2014 衆議院議員総選挙当選(二期目)
2016 外務大臣政務官就任
2017 衆議院議員総選挙当選(三期目)